

人間工学の考え方と自動車への応用

- ◆日時: 2022年03月30日(水) 10:30~16:30
- ◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をさせていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申し込みされた場合、1名につき**49,500円(税込)**
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: E&C企画 代表 稲垣 大 氏 元(株)豊田中央研究所

第1部:「人間工学を学ぶ心構え」

【講演のポイント】

人間工学を学ぶ心構えに付いて簡単に紹介します。

第2部:「人間工学基礎講座」

【講演のポイント】

商品開発における、設計要件を求めるに当たり使い勝手(ユーザビリティ)を配慮した製品開発が求められる。従来は出来上がった製品の官能評価を行って製品の出来具合を評価してきた。しかし、その製品をより良くするに当たっては、製品設計にフィードバックできる指標が必要となる。この目的を達成する方法として、官能評価を、物理量や生理量で客観的に指標化できれば、設計にフィードバックすることができる。講座では、人間をどのように観察してもの造りに役立てていくかを紹介する。

【プログラム】

- 人間工学→ユーザ工学へ
- ユーザ工学とは
- 人間工学の応用
 - 3-1 産業分野における応用
 - 3-2 機器設計における応用
 - 3-3 人間工学の効用と限界
- 人間工学の3つのアプローチ
 - 4-1 解剖学的アプローチ
 - 4-2 生理学のアプローチ
 - 4-3 心理学的アプローチ

第3部:「自動車の人間工学技術」

【講演のポイント】

人間工学の基礎をベースに「自動車の人間工学技術」に付いて自動車機能と運転者との関係で生じるヒューマン-マシンインターフェイスの側面から解説をします。

【プログラム】

- 自動車と人間特性: 安全性・快適性・環境適応性
- 評価、計測技術: 運転・乗降のしやすさ、室内・内装の快適性、感性の計測と魅力の追求

3. 人間工学データベース

4. 基礎技術の将来展望: 自動運転におけるHMI・人間工学のロードマップ

レベル2, 3の自動運転のHMIに関して現状を解説

第4部:「快適な車造りのためのドライバセンシング技術」

【講演のポイント】

近年、車造りに対してユーザの要求は、従来からの車両性能に加えて、ドライバや乗員側から見た車の安全性、快適性を含めた総合的な性能が求められている。特に、車は単なる移動手段の道具ではなく、車を運転するドライバに安全で快適な移動空間を提供できるものでなくてはならない。このような背景から、人間側から見た快適な車はどうあるべきかを計測・評価するためのドライバセンシング技術の動向について紹介する。

【プログラム】

快適性の評価法(心理・行動・生理指標)の考え方

- 自動車用シート(感性品質評価)
- 操作フィーリング評価(ステアリング・シフトノブ)
- 運転疲労の計測

第5部:「車載情報機器の視聴覚認知負担評価」、他

【講演のポイント】

車載情報機器の安全性をドライバの精神的負担度の問題として捉え、ドライバの情報処理能力・注意特性に着目した観点で、安全基準・許容範囲を求めるための視聴覚認知負担評価法に関して紹介する。

【プログラム】:

- 携帯電話の安全評価
- カーナビの評価
- 居眠り検知
- 飲酒運転防止装置

『人間工学【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● Webセミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>